

学長就任のご挨拶

東京工芸大学 学長

若尾 真一郎

本年4月から東京工芸大学学長に就任いたしました若尾でございます。はじめに簡単に自己紹介をさせていただきます。

私は昭和17年山梨県生まれで、現在66歳です。東京藝術大学大学院(美術研究科デザイン専門課程ビジュアルデザイン専攻)修士課程を修了し、フリーのイラストレーターとして活動する傍ら、高澤学園創形美術学校の校長等を務めてまいりました。

平成6年の芸術学部開設と同時に本学教授(芸術学部)に着任し、教員として学生の教育に傾注してまいり、このたび学長に就任した次第です。微力ながら本学発展のために努力する所存ですので、何卒ご指導とご支援、ご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

さて、御存知のとおり、本学は大正12年設立の小西写真専門学校を前身として今年で創立85周年を迎え、現在では工学部5学科、芸術学部6学科4コース並びに大学院2研究科更には芸術別科をも擁する学生総数約5,000名の総合大学へと発展を遂げました。これもひとえに、本学をご卒業された皆様方のご活躍の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、芸術学部は開設以降、学科・コースの新設を行い、留まることなく常に「進化」を続け、昨年度のマングラフィック及びアニメーション学科ゲームコースの新設により、メディアコンテンツ分野がひととおりのユニークな特色ある芸術学部の体制が整いました。また、教育内容の改革にも積極的に取り組み、時代や社会のニーズに対応する充実したカリキュラム構成となっています。最近では在学生在が木村伊兵衛写真



賞、読売広告大賞、文化庁メディア芸術祭各賞を受賞するなど、その活躍は目覚ましく、本学の教育のクオリティの高さの証明でもあるといえます。

私は本学の長い歴史の中で初めての芸術系出身の学長です。今後は芸術学部をますます発展させるとともに、工学部と芸術学部の2学部からなる本学の特徴を最大限に活かし、常に時代をリードする社会に有用な大学として皆様の期待に応えてまいりたいと思います。

同窓会の皆様には、今後も引き続き本学発展のために力強いご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のますますのご発展とご健勝を心よりお祈り申し上げ、私のご挨拶とさせていただきます。

東京工芸大学後援会・同窓会共催の卒業祝賀会開催

東京工芸大学 後援会 同窓会 卒業祝賀会



写真：小池恒裕 (33期)

平成20年3月24日の芸術学部・大学院芸術学研究科学位授与式に続き、中野サンプラザの13階にて東京工芸大学後援会と同窓会の共同開催による卒業祝賀会が盛大に挙行された。同窓会からは田沼会長以下本部役員が、後援会からは会長以下役員の方々、学校法人からは理事長、専務理事をはじめ事務方からも多くの参加を頂いた。新会員となった卒業生も300名以上が参集し、華やかな会場は大いに盛り上がり、時間一杯まで楽しい時間を過ごせた。

記と写真：福村 敏 (45期 広報委員)



平成20年度同窓会会長賞を授賞

理事・評議委員会に続き、別会場で懇親会が開かれ、冒頭田沼会長から新学長の若尾真一郎氏と新芸術学部長の内藤 明氏 (47期) に委嘱状が渡された。また平成20年度同窓会会長賞が以下の2名に授与された。

記と写真：福村 敏 (45期 広報委員)

写真学科 小浪次郎 君 (4年)
アニメーション学科 酒井浩史 君 (3年)



中 田沼武能会長 右 小浪次郎君



若尾真一郎 学長



内藤 明 芸術学部長



写真学科 小浪次郎 君

酒井君の申出により、ご本人の写真を削除しました。(事務局)

平成20年度 東京工芸大学同窓会 理事・評議員会 議事録 (案)

開催日時：平成20年6月10日 (火) 17:00-18:30 開催場所：市ヶ谷アルカディア

議長：田沼 武能 会長 司会進行：川名総務委員長 議事録署名人：池田理事・樺沢理事 書記 (文責)：上田

理事評議員会構成員総数107名 出席34名 委任状39通 返信なし34通

◆ 本理事・評議員会は、規定により成立した。

1. 平成19年度各種委員会報告

1) 事業委員会 (田村専務理事)

■平成20年3月24日学位授与式後、中野サンプラザにて卒業祝賀会が実施されたという旨の報告があった

2) 広報委員会 (中村専務理事)

■「ひろば」を3回発行したという旨の報告があった

- ・107号 (6/27) 80周年記念大会
- ・108号 (10/30) 80周年記念大会の写真・沿革史
- ・109号 (3/15) 卒業制作展の報告

■計6回の会議を実施したという旨の報告があった

■HP運営に関して、資料Aに基づいて報告があった (糸賀常務理事)

3) 総務委員会 (川名理事長)

■34支部中32支部が管理下にあり、支部会として活動しているのは11支部であるという旨の報告があった

■10月7日 同窓会80周年記念大会が開催され、212名の参加があったという旨の報告があった

■埼玉支部の初総会が9月9日に開催されたという旨の報告があった

2. 平成19年度決算報告 (花川常務理事)

■資料1・1～1・3に基づき、報告があった

3. 平成19年度会計監査報告 (土屋会計監事・佐藤会計監事)

■資料1・1～1・3について5月2日に会計監査を行い、適切に運用されていることが認められたという旨の報告があった

■以上の決算報告・会計監査報告について承認された

4. 平成20年度同窓会活動方針案について (田沼会長)

■各支部を活性化させたいという旨の発言があった

■大学法人との会談の中で、少子化による入学志願者減少が懸念されており、同窓生のご子息に入学志願者がいた場合には、特別な配慮を考える場合があるという話があったという旨の報告があった

■例年通り、同窓会事業を実行したいという旨の発言があった

5. 平成19年度卒業生からの評議員候補者承認の件 (花川常務理事)

■資料2に基づき、新評議員についての説明があり、審議の結果承認された

■平成21年度以降は写真・映像・デザイン以外の学科からの評議員推薦を積極的に促したいという旨の発言があった

平成20年度理事追加者承認の件

■資料2に基づき、理事追加者についての説明があり、審議

の結果承認された

・資料2の理事候補者欄に、池谷彩子氏 (73期) の名前を追加

6. 平成20年度各種委員会活動案について

1) 事業委員会 (田村専務理事)

■卒業祝賀会 (平成21年3月23日) を中野サンプラザにて実施するという旨の報告があった

■大学進学相談会に併せて、支部総会を実施するという旨の報告があった。

- ・8/4広島、8/6-10群馬、9/9富山、9/10石川、9/25福岡事務局より追加 (6/21 関西支部総会、7/12 沖縄県支部総会、9/4 新潟県支部総会)

2) 広報委員会 (中村専務理事)

■「ひろば」110～112号を発行する予定があるという旨の報告があった

- ・110号では、新会員全員の学科・氏名を掲載する予定
- ・110号より横書きのレイアウトに変更する予定
- ・支部の活性化を目的として、支部長に記事執筆の依頼をする予定

■HP運営では近日中に委員会を開催しHP改修予定という旨の報告があった (糸賀常務理事)

3) 総務委員会 (川名理事長)

■新支部結成 (6支部) へ向けて活動を実施するという旨の報告があった

- ・神奈川：9/20に1回目の支部会が横浜にて実施される予定

■平成19年度に発行された80周年記念沿革史についての報告があった (池田理事)

4) 名簿委員会 (奥田副会長／花川常務理事)

■資料に基づき、本部会員の現況調査を「ひろば」110号より行うという旨の説明があった

7. 平成20年度予算 (案) の件 (花川常務理事)

■資料3・1～3・3に基づき、平成20年度予算 (案) の説明があり、審議の結果承認された

■基本財産の利率についての質問があった

■樺沢理事より、卒業祝賀会において新会員に記念品を贈呈してはどうかという提案があった

→理事会での審議が適切なのではないかという理由で審議は見送られた

8. 平成20年度同窓会会長賞候補者の承認の件 (花川常務理事)

■資料4に基づき、2名が推薦され、承認された

9. その他

■平成21年度入試ガイド・大学案内が配布された

◆ 以上全ての報告・審議事項について承認された

2007年（平成19年度）東京工芸大学同窓会 決算書 1 〈自：平成19年5月1日～至：平成20年4月30日〉平成20年5月2日

【一般会計】

(単位：円)

収入の部		
科 目	予算額	実施額
1 会 費	23,550,000	25,090,000
1.H19本部会費	23,550,000	25,090,000
2.支部会費	0	0
2 雑 収 入	9,000	7,641,843
1.預金利息	9,000	25,227
2.雑収入	0	3,000
3.沿革史より戻し		6,322,755
4.80周年記念事業戻し		1,290,861
3 前 期 繰 越	2,195,848	2,195,848
1.預金	2,195,848	2,195,848
2.現金	0	0
合 計	25,754,848	34,927,691

平成19年度決算について、ご報告いたします。

理 事 長 川 名 晴 美 
 会 計 花 川 正 英 

平成20年5月2日厳正に監査の結果、適切に運用・処理がされていることを確認いたしましたので、報告いたします。

会 計 監 事 土 屋 哲 郎 
 会 計 監 事 佐 藤 雅 英 

(単位：円)

支出の部		
科 目	予算額	実施額
1 事 業 費	20,400,000	16,621,577
1.会合費	600,000	459,476
2.卒業祝賀会	3,000,000	2,640,630
3-1会報制作費	1,600,000	1,502,325
3-2会報発送費	3,000,000	1,507,120
3-3会報送作業費	1,300,000	881,703
4.名簿作成費 *4	100,000	100,000
5.奨学金	1,000,000	1,000,000
6.同窓会長賞	500,000	500,000
7.学友会活動助成金	500,000	500,000
8.沿革史 *3	1,000,000	1,000,000
9.HP維持管理費	1,700,000	1,690,972
10.総務委員会 *1	2,000,000	2,000,000
11.80周年記念大会*2	2,500,000	2,500,000
12.支部活性化助成費	1,500,000	339,351
13.予備費	100,000	0
2 会 議 費	210,000	158,321
1.会議費	200,000	158,321
2.交通費	10,000	0
3 管 理 費	644,848	249,855
1.通信費	50,000	36,040
2.交通費	10,000	2,000
3.事務費	50,000	7,241
4.印刷費	0	0
5.磨耗費	50,000	36,890
6.名簿データ管理費	160,000	157,500
7.支部返還費	0	0
8.予備費・雑費	324,848	10,184
4 特 別 会 計 (繰 出 し)	4,500,000	4,500,000
1.基本財産	4,500,000	4,500,000
小 計	25,754,848	21,529,753
次年度 繰越		13,397,938
合 計	25,754,848	34,927,691

*1 みずほ銀行中野坂上支店 口座番号1871897 *3 三菱東京UFJ銀行中野支店 口座番号1020666
 *2 みずほ銀行中野坂上支店 口座番号1890883 *4 三菱東京UFJ銀行中野支店 口座番号0729299

2007年（平成19年度）東京工芸大学同窓会 決算書 2 〈自：平成19年5月1日～至：平成20年4月30日〉平成20年5月2日

【特別会計・基本財産】

(単位：円)

収入の部		
科 目	予算額	実施額
1.前期繰越残高	128,586,075	128,586,075
みずほ大口定期*1	50,455,729	50,455,729
スーパードラッグ定期*2	15,024,524	15,024,524
三菱東京UFJ定期*3	63,105,822	63,105,822
2.預金利息合計	52,000	179,775
3.一般会計より繰入	4,500,000	4,500,000
合 計 (A)	133,138,075	133,265,850
支出の部		
科 目	予算額	実施額
1.一般会計へ (B)	0	0
資産残高 (次年度繰越)		
科 目	予算額	実施額
差引残高 (A) - (B)	133,138,075	133,265,850

*1 *2は、みずほ銀行中野坂上支店 定期口座番号6273297
 *3は三菱東京UFJ銀行中野支店 総合口座番号1020666

【別途積立・80周年記念大会】

(単位：円)

収入の部		
科 目	予算額	実施額
1.前年度繰越	996,280	996,280
2.預金利息	20	1,570
3.19年度一般会計より	2,500,000	2,500,000
4.参加費+祝儀		1,015,000
合 計 (A)	3,496,300	4,512,850
支出の部		
科 目	予算額	実施額
1.平成19年10月7日開催 (B)	0	3,221,989
差引残高 (残金一般会計戻し)		
科 目	予算額	実施額
差引残高 (A) - (B)	3,496,300	1,290,861

平成19年度決算について、ご報告いたします。平成20年5月2日厳正に監査の結果、適切に運用・処理がされていることを、確認いたしましたので報告いたします。

理 事 長 川 名 晴 美 
 会 計 花 川 正 英 
 会 計 監 事 土 屋 哲 郎 
 会 計 監 事 佐 藤 雅 英 

2007年（平成19年度）東京工芸大学同窓会 決算書 3 〈自：平成19年5月1日～至：平成20年4月30日〉平成20年5月2日

【別途積立・名簿会計】

(単位：円)

収入の部		
科 目	予算額	実施額
1.前期繰越残高	3,702,557	3,702,557
2.預金利息	25	5,709
3.繰入 (一般会計より)	100,000	100,000
合 計 (A)	3,802,582	3,808,266
支出の部		
科 目	予算額	実施額
1.一般会計に戻し (B)	0	0
名簿準備金 (資産残高) 次年度繰越		
科 目	予算額	実施額
差引残高 (A) - (B)	3,802,582	3,808,266

*三菱東京UFJ銀行中野支店 普通口座0729299

平成19年度決算について、ご報告いたします。平成20年5月2日

理 事 長 川 名 晴 美 
 会 計 花 川 正 英 

平成20年5月2日厳正に監査の結果、適切に運用・処理されていることが、確認できましたので、報告いたします。

会 計 監 事 土 屋 哲 郎 
 会 計 監 事 佐 藤 雅 英 

【別途積立・総務委員会】

(単位：円)

収入の部		
科 目	予算額	実施額
1.前期繰越 (総務)	1,970,525	1,970,525
2.H19年度	2,000,000	2,000,000
3.利息		2,365
合 計 (A)	3,970,525	3,972,890
支出の部		
科 目	予算額	実施額
1.支部会長 (B)	0	0
差引残高 (次年度支部長会)		
科 目	予算額	実施額
差引残高 (A) - (B)	3,970,525	3,972,890
【別途積立・沿革史】 (単位：円)		
三菱東京UFJ銀行中野支店1020666 収入の部		
科 目	予算額	実施額
1.前期繰越 (沿革史)	17,196,929	17,196,929
2.H19年度	1,000,000	1,000,000
3.利息		19,964
合 計 (A)	18,196,929	18,216,893
支出の部		
科 目	予算額	実施額
1.沿革史発行+発送費 (B)	0	11,894,138
差引残高 (発行後一般会計戻し)		
科 目	予算額	実施額
差引残高 (A) - (B)	18,196,929	6,322,755

2008年（平成20年度）東京工芸大学同窓会 予算（案）1 〈自：平成20年5月1日～至：平成21年4月30日〉平成20年5月2日

【一般会計】

(単位：円)

収入の部		
科 目	予算額	備考
1 会 費	25,000,000	
1.H20本部会費	25,000,000	
2 雑 収 入	15,000	
1.預金利息	15,000	
2.雑収入	0	
3 前 期 繰 越	13,397,938	
1.預金	13,397,938	
2.現金	0	
合 計	38,412,938	

平成20年5月2日

平成20年度一般会計予算（案）について、ご審議願います。

理 事 長 川 名 晴 美
会 計 花 川 正 英

(単位：円)

支出の部			
科 目	予算額	備考	
1 事 業 費	21,400,000		
事業委員会	1.卒業祝賀会	4,000,000	平成21年3月23日サンブラザ
広報委員会	2-1会報制作費	1,300,000	年3回発行予定
	2-2会報発送費	2,400,000	
	2-3会報発送作業費	1,200,000	
	3.HP管理発信費用	1,900,000	
総務委員会	4.会合費	600,000	平成20年6月10日市ヶ谷アルカディア
	5.奨学金	1,000,000	
	6.同窓会長賞	500,000	
	7.学生会活動助成金	500,000	
	8.総務委員会積立	2,000,000	支部長会開催に向けて積立*1
	9.支部活性化助成費	1,500,000	支部総会等出席の交通費を含む
	10.総務委員会予備費	500,000	
名簿委員会	11.名簿作成準備金・調査費	4,000,000	別途積立・名簿会計へ*2
2 会 議 費	210,000		
	1.会議費	200,000	理事会・各種委員会
	2.交通費	10,000	
3 管 理 費	802,938		
	1.通信費	50,000	宅配・切手・葉書
	2.交通費	10,000	
	3.事務費	50,000	
	4.印刷費	50,000	理事会・評議員会・各種委員会資料
	5.慶弔費	50,000	
	6.本部データ管理費	160,000	*4
	7.予備費・雑費	432,938	同窓会長賞 額縁・目録
4 特 別 会 計 (繰出し)	16,000,000		
	1.基本財産	16,000,000	三井住友銀行*3
合 計	38,412,938		

*1みずほ銀行中野坂上支店 口座番号1871897 *3三井住友銀行中野坂上支店 口座番号4287407
*2みずほ銀行中野坂上支店 口座番号1890883 *4名称変更 名簿管理費から本部データ管理費に名称変更

2008年（平成20年度）東京工芸大学同窓会 予算（案）2 〈自：平成20年5月1日～至：平成21年4月30日〉平成20年5月2日

【特別会計・基本財産】

(単位：円)

収入の部		
科 目	予算額	備考
1.前期繰越残高	133,265,850	
みずほ大口定期*1	65,618,555	
三菱東京UFJ定期*2	63,134,695	
三井住友銀行*3	4,512,600	
2.預金利息合計	52,000	
3.一般会計より繰入	16,000,000	三井住友銀行*3
合 計 (A)	149,317,850	

(単位：円)

支出の部		
科 目	予算額	備考
1.一般会計へ (B)	0	
資産残高 (次年度繰越)		
	予算額	備考
差引残高 (A) - (B)	149,317,850	

*1はみずほ銀行中野坂上支店 定期口座番号6273297

*2は三菱東京UFJ銀行中野支店 総合口座番号1020666

*3は三井住友銀行中野坂上支店 口座番号00017439

20年度特別会計・基本財産予算（案）についてご審議願います。

理 事 長 川 名 晴 美
会 計 花 川 正 英

2008年（平成20年度）東京工芸大学同窓会 予算（案）3 〈自：平成20年5月1日～至：平成21年4月30日〉平成20年5月2日

【別途積立・名簿会計】

(単位：円)

収入の部		
科 目	予算額	備考
1.前期繰越残高	3,808,266	
2.預金利息	750	
3.繰入 (一般会計より)	4,000,000	データ構築
合 計 (A)	7,809,016	

*三菱東京UFJ銀行中野支店 普通口座0729299を
みずほ銀行中野坂上支店 普通口座1890883へ変更する。

支出の部		
科 目	予算額	備考
1.一般会計に戻し (B)	0	
名簿準備金 (資産残高) 次年度繰越		
	予算額	備考
差引残高 (A) - (B)	7,809,016	

【別途積立・総務委員会】

(単位：円)

みずほ銀行中野坂上支店1871897 収入の部		
科 目	予算額	備考
1.前期繰越 (総務)	3,972,890	
2.H20年度	2,000,000	
3.利息	1,200	
合 計 (A)	5,974,090	

支出の部		
科 目	予算額	備考
1.支部長会 (B)	0	
差引残高 (次年度繰越)		
	予算額	備考
差引残高 (A) - (B)	5,974,090	

平成20年度別途積立・名簿会計予算（案）について、ご審議願います。

理 事 長 川 名 晴 美
会 計 花 川 正 英

北から 南から

北海道支部

特別展「写真技術の歴史と北海道開拓の記録」の開催

平成20年5月1日(木)～6月26日(木)の間、江別市文教台の北海道立図書館エントランスホールで、6月1日「写真の日」にちなみ、写真の誕生から、写真技術の日本への渡来、北海道の開拓記録としての写真、カメラの歴史などを、パネルや蔵書、古いカメラや銀板写真、湿板写真、組立暗箱なども展示して紹介しました。

本特別展は東京工芸大学同窓会北海道支部が全面的に後援者となり、企画して実現したものです。

支部長 筒渕 美允(37期) 副支部長 川守田順吉(37期)



石川県支部

北陸の中心地石川県は能登と加賀に分かれ海の幸、山の幸に恵まれ、県内には有数の観光地や温泉地がある所です。中でも金沢は加賀百万石の城下町として栄え、日本三名園の一つの兼六園、また、金沢21世紀美術館など市内には全国的に有名な建物もあり、古さと新しさが混在し独特の風情と歴史が残っている町です。

そんな中、金沢を中心に先輩達が築いてきた我が大学の同窓会の歴史も古く、県内の写真・印刷業界には現在100名を超える卒業生がおり、何れも各方面にて活躍しております。

また、目に見えない縦や横の繋がりもしっかりと出来ているようです。

しかし、近年支部では総会同窓会を開いても集まりが悪く、支部長の力不足や、業界の低迷により、益々運営して行く事が難しい時代に入って来たようです。

全国的にも言える事だと思いますが、いかに支部として、同窓会として、魅力ある活動をしていけるか、また、後輩達に同窓会の組織を継承していけるかが、

今後の最大の課題になって来た実感しております。

今年は支部総会として9月に工芸大学教授田村寛先生をお迎えして、先生を囲み同窓会を開きたいと計画しております。

今後とも学校側のお力を借り、工芸大学同窓会とも密接な関係を保ち、同窓会と支部とのパイプ役として、微力ながら頑張りたいと思っております。

なお、全国の同窓生の皆様、金沢にお立ち寄りの際は是非お声を掛けて下さい。「熱烈歓迎」致します。

石川県支部長 小坂 文誉(52期) 記



名勝 兼六園 琴路灯籠

屋良勝彦 写心展

終幕のない『レクイエム』

2008年6月10日 [火] -15日 [日]
沖縄県立博物館・美術館 県民ギャラリー1・2

1945年太平洋戦争末期の沖縄戦では実に多くの人々が犠牲となった。1995年、沖縄県発行の『沖縄・戦後50年の歩み』に依ればその数は次の通りである。

日本軍（軍属を含む）	94,136人
米 軍	12,520人
一般県民（推計）	94,000人

全戦没者数 200,656人
（その後の調査等で実数は変動有り）

当時私は5歳。家族と共に2ヶ月余も南部の戦場を逃げ惑い、6月中旬（現）糸満市伊原あたりに辿り着いた時、父（49歳）は近くに落ちた砲弾で爆死。2人の兄（21歳、18歳）と弟（2歳）は米須海岸のアダン林で戦死した。

兵隊だった長兄（21歳）は追い詰められて最後は手榴弾で自らの命を絶っている。

それから2・3日して戦争はほぼ終息に向い、アダン林を抜け出し、残った家族は近く（伊原）の第一外科壕で他の10数人の人達と米軍の捕虜となった。

結局、8人だった私の家族も4人になっていた。

沖縄県支部長 屋良 勝彦 37期（日本写真家協会会員）



東京工芸大学同窓会神奈川県支部 総会のご案内

暑さ厳しき折から皆さまには如何お過ごしでしょうか。

東京工芸大学同窓会は、各県で同窓会支部を設立し、大学を盛り立てると同時に、卒業生の横のつながりを持つべく要請を受けました。

これを機会に、青春時代を工芸大学で過ごした仲間が集まり、大学からも出席していただき母校の現状などを聞き、写真・芸術関連科の昭和元年卒業生から平成20年卒業生を対象に神奈川県支部の発会式を行います。ぜひこの発会式に、ご出席をお待ちしております。

記

日 時：9月20日（土）PM3：00開会（2：30より受付）

場 所：ナビオス横浜（JR桜木町駅徒歩7分）（みなとみらい線）

横浜市中央区新港2丁目1-1 TEL：045-633-6000

講 演：菅原孝一氏（厚木キャンパス事務部長・同窓会理事）

参加費：8,000円（懇親会）

申込締切：9月5日（金）

東京工芸大学同窓会神奈川県支部

支部長 平井 貞幸（47期）045-752-3157 幹事 鈴木 克明（40期）044-822-3466

広報委員会から 各支部長殿へのお願い

広報委員会では、各支部長殿に年3回発行予定の同窓会報「ひろば」の紙面に、各支部の様子や企画、計画案、それに限らず他の件（ご当地や観光地の案内、祭り、知り合いの同窓生が受賞されたとか、ご当地で作品展をされたとか、支部のPRの記事等）を「支部だより」の紙面に掲載し、新会員方々に紹介や支部の所在と意識を持っていただくために、支部の方々に広報委員から原稿依頼をさせていただきます。ご多忙のところ誠に申し訳ございませんが、原稿依頼を受けた支部長殿には期限内に担当者宛に郵送（またはメール添付にて）して戴けるようお願いいたします。

なお編集会議では予定のスペースを空けて待機し、発行予定月度内に全国約17,000名の同窓生のお手元に届くよう努めております。是非ともご理解ご協力戴けるようお願い申し上げます。

広報委員長 中村正彌（34期）

原稿送付先：〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5東京工芸大学同窓会 福村 敏（45期） email：binfuku@dsn.t-kougei.ac.jp

第4回 アフリカ開発会議 横浜開催記念 田沼武能(24期)氏 写真展 アフリカ はじける子供の笑顔

アフリカ はじける子供の笑顔

少年の屈託のない表情が印象的な、連面の笑顔で



16日から横浜で

田沼武能氏 写真展

写真家の田沼武能さん(79)が撮影したアフリカの子供たちの写真展が16日から、横浜市中区の「放送ライブラリー」で開かれる。

アフリカ諸国の首脳や国際機関の代表がアフリカ開発問題を協議する「第4回アフリカ開発会議(TICAD4)」が28、30日、同市で開催されるのに合わせ、田沼さんが写真展を企画した。

田沼さんは40年余にわたる世界約130か国の子供たちの写真を撮影、アフリカではガーナやソマリアなど、写真展は6月15日まで。入場無料。同4日には、田沼さんとユニセフ親善大使の女優、黒柳徹子さんがアフリカの子供たちについて語る公開セミナーも開かれる。問い合わせは、放送ライブラリー(045・222・2289)まで。

幼いころから農作業を手伝い、教科書もノートもない青年教室で真剣に授業を受けるアフリカの子供たちから伝わってくるのは「生命力」だと話す田沼さん。「彼らはボールがないから遊べない、なんて言わない。丸めた泥でピモを巻いてボールを作り、一日中つけて遊んでいます」。リズム感があり、踊って喜びを表現する勇気を忘れていないという。

どうも困を訪問。展示作品は、スーダンの難民キャンプで少年らが真っ白い歯を見せて笑っているが、レンズを覗いてみると一瞬を捉えた「一面の笑顔」や、束ねた杖を担いで砂漠を歩く難民の母子の姿を写した「群拾い」など90点にのぼる。

読売新聞 夕刊 2008年(平成20年)5月13日(火曜日)の記事が掲載され新聞に眼をとおされた方や写真展をご覧の同窓生も多く訪れたことと思います。参考までに田沼武能氏は(24期)現東京工芸大学同窓会会長です。

記：中村正彌(34期・広報委員)

2008年
5月16日(金)～6月15日(日)午前10時～午後6時
放送ライブラリーイベントホール 入場無料 月曜休館

田沼武能写真展 アフリカ—子どもたちの日々

第4回アフリカ開発会議横浜開催記念

公開セミナー
田沼武能 & 黒柳徹子 アフリカを語る①、子どもを語る②

日時：6月4日(木)14時～15時(13時開始)
会場：東京工芸大学(横浜校)学生センター4階
主催：田沼武能(写真家・日本写真家協会会員)
黒柳徹子(女優・ユニセフ親善大使)

入場：無料(200名) ※要申込(申込詳細はこちら)

放送ライブラリー

〒220-0292 横浜市中区日吉2-1-1 横浜校学生センター4階
TEL:045-222-2028 http://www.tkpl.or.jp

田沼武能氏

黒柳徹子氏

もっとアフリカを知ろう 田沼武能

アフリカの人々は元来、音楽でダンスを好み、独特のリズム感や音楽の感性をもっています。人々は踊ることで喜びや楽しみを共有しておりますが、現実にはきびしく、多くのアフリカの人々には貧困や戦争の犠牲です。子どもの中には少年兵に仕立てられたり、辛い児童労働の日を送ったり、人身売買の過酷な境遇にさらされるものも少なくありません。

私自身、世界の子どもたちを写し続けてきましたが、1984年からユニセフ親善大使となった黒柳徹子さんと共に同じく援助を必要とする国々を視察訪問してきました。その多くはアフリカの国々でした。今年の5月28～30日に横浜で開催される第4回アフリカ開発会議を契機にそれらのアフリカの子どもたちの現状をよくよく知っていただくために、アフリカの写真を全編しました。

公開セミナー

田沼武能 & 黒柳徹子 アフリカを語る！ 子どもを語る！

写真を通じて世界の子どもたちの姿を伝えてきた田沼武能氏、同氏と黒柳さんが文化交流のあるユニセフ親善大使・黒柳徹子さんが20年間にわたって行ってきた、その貴重な体験を語り、アフリカの子ども、世界の子どもたちについて語り合います。

日時：6月4日(木)14時～15時(13時開始)
会場：横浜校学生センター4階
開催者：田沼武能(写真家・日本写真家協会会員) 黒柳徹子(女優・ユニセフ親善大使)
入場：無料(200名)

応募方法：任意ですが、●申込書(アフリカ・セミナー)●住所 ●氏名 ●年齢 ●性別 ●入学年次まで記入し5月23日(金)迄まで、放送ライブラリー事務局へ

放送ライブラリーのホームページでも受け付けています。

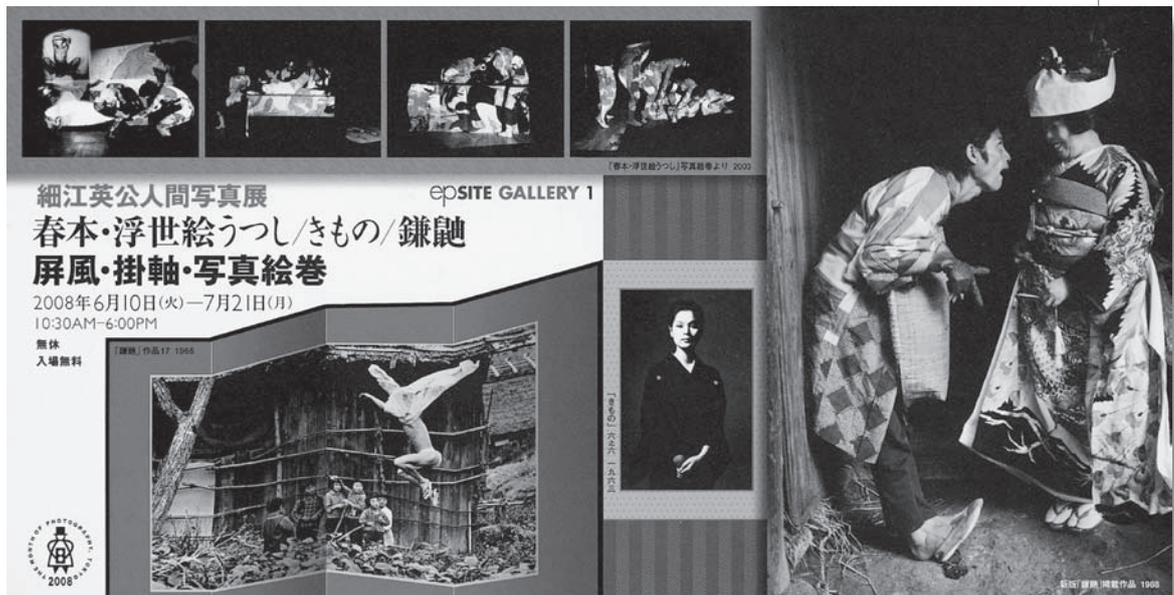
●ご興味のない方はご無慮ですが、本展覧会の開催を知らせる目的でのみご利用します。

放送ライブラリー

〒220-0292 横浜市中区日吉2-1-1 横浜校学生センター4階
TEL:045-222-2028 http://www.tkpl.or.jp

細江英公 (29期) 人間写真展 春本・浮世絵うつし/きもの/鎌鼬 屏風・掛軸・写真絵巻

写真家・細江英公の軌跡は、日本の戦後写真史の歩みを映す鏡である。芸術の概念を日本写真に伝え進化に貢献しつつ、表現者として時代に刺激をあたえる強烈な作品を発表しつづけた。土方巽の舞踏人生の心髄をとらえた『鎌鼬』刊行より約40年を経て尚、導きあうスピリットは醸成をつづけ、カラー作品『春本・浮世絵うつし』^{ぼっこ}が生み出される。細江とデジタルの出会いは、絵巻、屏風、掛軸を介して時空を跋扈する作品をつくりあげた。



池田陽子 (39期) 写真展 「人形浄瑠璃文楽」





立川宏司 (42期) 写真展 雨幻 (あめまぼろし) III

雨の日のフロントガラス越しに映る都会の街並みを撮り続けて15年が経ちました。始めの数年は白黒フィルムで、その後、カラーネガに切り換えて3回目の作品発表となりました。自動車のフロントガラス越しにゆらと揺れる街並みは雨の降り方で形を変え、いつも新しい発見をしたような気がします。雨に洗われた街並みはとてもきれいで、色と光が豊富なことを感じます。ふと、少し頼りなげな街並みが雨で流れてしまうのではないかと感じることがあります。



青木 勝 (41期)

「YS-11が飛んだ空—全182機それぞれの生涯—」

出版社/朝日新聞社刊 12月7日発売
A5判400ページ 価格3,990円

2006年9月30日に完全引退した日本唯一の国産旅客機YS-11 182機の生涯を追った本です。

青木 勝 公式ブログ http://blogs.yahoo.co.jp/aokikatsu_blog

小林紀晴 (63期) 写真展 はなはねに



中谷吉隆 (32期) 〈俳号 龍子 (りゅうし)〉 作品展 「写真×俳句」

お互いに独立した表現である写真と俳句。一方は視覚でまた一方は言語で、目前に広がる光景、事象・現象の今を一瞬に切り取り表わす。また、自分の内面から発する感情を定着もする。これをコラボレーションすることで、もう一つの表現世界が創り出され、新たな感動、感激を生み出す。

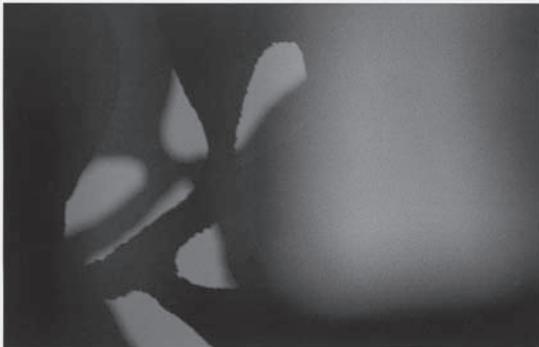
フォトギャラリー新宿御苑 オープニング企画展

中谷吉隆作品展
「写真×俳句」
会期 2008年5月7日(水)～5月21日(水)



フアールブル
夢見少年
日の笠
龍子

月の欠けた夜に



福西多恵子写真展

2008年5月7日(水)～13日(火) 5/11(日) 休館

京セラコンタックスサロン東京
10:00～18:00 最終日16:00迄

福西多恵子 (41期) 写真展 月の欠けた夜に

銀座の光と影は無機質な光が、あたたかも生命をおびた有機体となって街を飛び交うイリュージョンの世界でした。そのような世界を表現してみました。

遠藤俊介 (80期) 写真展 カンボジアの子どもたち

遠藤俊介 写真展
カンボジアの
子どもたち



銀座：'08年3月6日(木)～3月12日(水) 梅田：'08年5月1日(木)～5月14日(水)
名古屋：'08年3月27日(木)～4月9日(水) 詳細料額、休館日は要函をご確認ください。

CANON
GALLERY

新会員名簿

写真学科

青田和也
浅葉幸子
阿部千寛
天沼千晶
有賀千尋
安西匠平
飯嶋利絵子
五十嵐浩二
池田敦
石川純平
伊藤杏海
伊藤真吾
伊藤隆晃
井上千春
岩原さつき
内山秀美
海老澤成人
大澤数人
岡崎慶太
尾崎武彦
小野努
小野洋平
加藤ゆき
川崎ふみか
川島崇志
岸剛史
黄瀬菜津美
北村了介
小菅淳文
小林政登
小林祐介
斎藤岳実
西来路千明
坂井啓美
酒井風太

榊原優佳
佐藤翔
佐野峰瑠
三瓶由布子
穴戸佑名
柴田さやか
清水拓也
下村愛
白幡敦弘
鈴木優太
関根隆
高野純
高橋碧
高橋直哉
高山はるか
武井史
田中宏志
田中亜実
田中節子
田中真由子
太郎丸京子
出村有
鳥羽史仁
富澤智美
長島麻喜
中西小百合
中村友紀
中山茜
西純子
服部菜つみ
平畝亮太
廣田純一
藤井光永
堀越圭晋
牧野孝哉
松本寛子

宮下祐介
森住貴弘
山崎梨奈
山下正博
山田達郎
山田朋弘
吉木諒祐
米倉亮
李真
渡部良平
川守田奏
中山宇宴
藤田常人
松葉直也
野内希美
別府笑

映像学科

阿川慶介
池内ちひろ
池田瞳
伊東智志
猪又郁夫
今井亜季
井山みきこ
上田真之
牛込崇智
榎本英郎
大木楨吾
大熊みなみ
大津正太
大野祐輝
岡田香織
鬼塚庸介
面谷淳子
加々美友章

風穴聡美
片山達也
角歩樹
金巻勲
金子真太郎
金子由佳理
金田佑輝
嘉部晶子
鎌田彩絵子
菊地聖
木村耕平
木元陽介
熊谷妙
幸野菜紀子
後藤礼美
近平知世
斎藤麻莉子
酒井達矢
澤田恵
柴崎温子
鄭株任
鈴木将典
泰中麻里
高卯真由実
高田英里
高野駿
竹原三貴
立元啓介
田中博之
田中友紀子
種山千紗
富澤絵里歌
羅玄澈
長尾佑亮
永作佳紀
中里曉子

長島信恵
長沼克哉
長野衣里子
中村裕美
野崎敬和
萩原恵太
葉山悠
原森わかな
平川裕美子
平山陽一
深川修治
福嶋賢治
福田充弘
福地雄士
藤川智美
藤原弓加
二見祐也
堀越順次
松倉聡美
三上英樹
本橋佳奈
森井明
森本慎平
諸岡章裕
保田直輝
山下なつき
山田恭平
山田典子
山田順久
山本大輔
湯澤和徳
吉岡洋輔
吉高昇一郎
呂晨子
渡辺優毅
菊地亜矢子

磯野 信 広
牛丸 瑛 美
齋藤 直 樹
清野 秀 和
山形 将 己
内田 文 弘
山崎 貴 完

デザイン学科VCコース

赤羽 剛
天谷 昌 浩
新井 絵 理
有田 瑠 美
石井 勇 気
石澤 あゆみ
一木 亜矢子
伊藤 恵 介
井上 大 輔
猪倉 彩 乃
岩田 步
植木 由紀子
魚谷 健 太
氏家 真理子
潮田 龍 憲
宇野 若 菜
大江 陽 子
大川 方 未
大田 有香里
大塚 真依子
大場 あかね
大畑 麻衣子
大本 考 衛
尾崎 まり子
尾崎 利 佳
小澤 友香子
小島 佳 祐
梶田 貴 夫
金井 慶 太
金井 理 恵

金子 礼
川下 勇 也
川野 友 実
神崎 恵
蒲原 隆 介
木部 喬
日下部 佑 太
黒澤 香
小池 麻 美
小岩 英里佳
小林 步
小林 祐 毅
小宮 翔 太
小山 りう子
近藤 健 介
酒井 博 子
相良 依 利
相楽 賢太郎
佐多 和 子
佐藤 翠
佐藤 良 則
佐野 文 香
志澤 一 浩
柴田 亜希子
菅野 綾 子
杉田 千 晴
杉山 稔 憲
杉山 真由美
鈴木 翔 伍
鈴木 博 樹
鈴木 康 通
相山 直
高須 浩 輔
高山 はるな
田所 千 春
田原 直 子
田村 陽 子
陳 可 欣
寺坂 泰 則

出羽 香奈子
徳永 陽 介
豊沢 拓 真
豊田 未 聖
中島 由美恵
中野 愛 子
中林 千 尋
成瀬 知恵子
難波 知 子
新津 拓
野田 美紗子
朴 乃 垠
蓮沼 良 子
原 利 行
平井 智 子
福原 大 吾
藤田 綾 乃
古川 和 希
古屋 才 佳
堀田 沙友里
松井 敬 樹
松本 慶 祐
松本 麻 步
丸山 玄
皆川 奈都美
宮下 眞有美
宮本 加 奈
茂木 美 緒
守谷 晴 子
山本 步
吉田 麻里子
和田 雄 介
渡部 優
渡邊 泰 旦
富田 伸 江
野上 さくら
恵原 悠太郎
成瀬 清 香
山田 翔

輪湖 絵里子

デザイン学科HPコース
青山 毅
阿部 未 紗
石村 佳 将
伊藤 慎 平
宇井 健 人
内山 志緒里
小河原 真 嗣
加藤 美由貴
川上 明 代
北村 有佳里
高 亮
小林 尚 貴
才木 敏 雅
佐々木 志 保
佐藤 もも子
澤野 真友美
神宮 良 平
進藤 徹
田所 和 輝
谷口 健 司
鶴見 亮
永井 めぐみ
長野 耕 大
西村 豊
野村 なつ美
樋口 大 作
福住 正 樹
森 貴 紹
山岸 利 香
山本 寛 子
横田 和 也
勝野 春 樹
横山 将 人

メディアアート表現学科
青木 健太郎

青木 由美子
秋元 優 弥
浅原 悠 介
油谷 暁 徳
飯泉 亜 弓
飯高 弥 生
池谷 古 都
石垣 拓 磨
井島 稚 子
伊藤 佳代子
今井 真 也
岩上 亜梨紗
岩崎 景 太
内山 千 鶴
遠藤 綾 香
大住 啓 介
大蔦 由 佳
大森 絢 子
奥山 奈 央
小澤 かおり
小野 琢 磨
尾上 鈴 香
金子 知 世
上村 友 子
河合 顕 久
君島 佑 介
草野 誠 徳
倉持 有 希
小岩 由 紗
河野 由貴文
小寺 美 希
小堀 麗
小森 雄 介
斉田 正 幸
坂井 智 之
佐々木 悠 乃
佐藤 愛
佐藤 功 理
仕田原 侑 希

篠崎歌織
篠原瑛里
清水宏
白川樹
白子理恵
杉村桐子
鈴木遼
須田直子
高嶋友也
高橋綾香
竹田真紀
田子かおり
田島敦子
玉田育代
津田盛
當眞あゆみ
富山聡子
鳥居和歌子
鳥毛陽介
中澤美紀
長島巨樹
永島香織
長沼伸一朗
長沼佑実
永野芙貴子
中村ふじ子
生江沙紀
橋本絵未
坂東恭行
樋口論理太
平野辰利
福岡康香
福沢恭
福永修也
船引宏一
星野直子
細田竜司
町田朋子
松岡将

松崎正俊
御舩翔
宮城舞子
三輪優太
村上和代
村田広佑
茂木隆
望月匠
森川朋子
森永幸太
矢島繁
山口舞
山田省吾
山中麻美
吉岡直人
吉澤正隆
吉村和貴
鷺山智穂
渡邊奈々
池田早苗
武藤千明
和田暁
湊隆之
村上史織

アニメーション学科
嵐田絢花
有満達也
有村洋祐
安藤由華
石川香菜子
石坂未来子
石嶋達子
石田龍樹
市岡恵理奈
一方井えり子
市川佳依
伊藤令
今村佳奈子

于小剛
遠藤誠
大柿香
大久保聡子
岡田麻子
岡野江美
小川千裕
桶田香澄
織田孝太郎
恩田雄多
垣内康平
籠原桂太
鹿嶋舜
金子達也
唐鎌由衣
軽部聡
喜多愛美
小谷奈津代
小林大晃
小松真実
古村依子
今野僚哉
酒井緑
佐野菜津恵
佐野雄一郎
猿渡耕太
穴戸望
穴戸勇貴
丁大浩
鈴木丈児
鈴木康弘
鈴木悠羽
鈴木優
須田紗織
関口裕子
高賀茂寛人
高木薫子
高瀬綾
竹内美帆

竹花健吾
田中舞
田上景子
田巻香奈恵
田村悠
崔允厚
辻村郁香
寺澤彩香
戸松亮太
富田兼次
中山知世
難波智裕
南木由実
新妻瑠維
野木克樹
長谷川美枝
花尾俊竹
林佳織
平野里枝
深町貴絵
深谷路都
福本奈央
保科詩穂
本田愛
真上京子
松井久美
松本倫実
眞部文人
丸山恵里
丸山史暁
南島悠希
宮坂蓉子
宮原巧平
村尾悦郎
森田あゆみ
森本祥久真
八木智子
山井紗也香
山崎航太

山城智恵
横山次郎
吉田英之
吉邊尚希
渡津道子
渡辺和朗
矢野博之
飯嶋純平
佐藤真由子
星麻子
吉賀大祐

大学院(修士)

小野塚浩
岩川洋輔
岩切浩三郎
喜多村みか
KIM GYEONG NAM
CHIU PO CHIAO
久保木園子
久塚真央
藤谷秀了
坂本佳子
畑田典子
日暮圭

大学院(博士)

岡田敦

東京工芸大学同窓会会員 各位

施設・設備充実資金へのご支援について

拝啓、同窓会の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素、本学の事業に対し、格別のご理解とご高配を賜り、誠に有難く、厚く御礼申し上げます。

さて、平成20年度施設・設備充実資金の寄付金募集事業を開始いたしましたので、ご報告申し上げますとともに、皆様の一層のご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

マスコミ報道等でご高承いただけるように、私立大学を取り巻く環境はますます厳しくなっており、また、大学間競争が激化しておりますが、本学は、学生諸君及び同窓生の方々のご期待に応え、永続的法人として存続できるよう、日々経営努力を続けております。

お蔭様で、平成20年度新入生については、入学定員を超える学生数を確保できましたが、本学の総収入の84%を占める学生納付金収入が平成19年度は前年度を若干下回る等、本学の財政が将来にわたって安泰であるとは言い切れない状態になりつつあるのも事実です。

一方、平成21年度から開始する中野キャンパス再整備事業をはじめ、厚木キャンパス校舎の改修・改装事業や授業及び研究に使用する機器備品の拡充等、施設・設備資金の需要は年々増加する傾向にあります。特に、中野キャンパスの再整備事業は、永年蓄積してきた資金が払底する規模の事業となる見込みです。

今後とも、入学者数を増加し、また、収入に見合った支出を行うよう注力する所存ではございますが、本学の財政基盤をより強くするためにも、皆様のご篤志をお願い申し上げる次第であります。何卒、事情ご賢察いただき、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

なお、寄付金に関する募集要項は、下記のとおりですので、ご支援を重ねてお願い申し上げます。

敬具

記

募金の用途： 施設・設備等の教育環境の整備・充実のために使わせていただきます。

募金の単位： 一口5千円（できるだけ多くご恵贈賜れば幸甚です。なお、ご寄付は、金額にかかわらずお受けいたします）。

申込・払込方法： ご賛同いただける旨ご連絡いただいた方にご送付する『寄付申込書』及び『専用振込依頼票』により、お申込及びお払込をお願いいたします。

申込・払込期限： 平成21年3月31日

ご照会先： 学校法人 東京工芸大学 法人事務局財務課（担当：飯田又は村上）

TEL (03) 3372-0047

FAX (03) 3375-0046

所得税控除： 「特定公益増進法人」である本学へのご寄付は、所得税の控除が受けられます（詳細はご賛同いただいた方に、別途、ご案内いたします）。

以上

平成20年6月

学校法人 東京工芸大学
理事長 小野茂夫

33期卒業50周年記念写真展作品募集のお知らせ

前号No.109号の〈予告〉にてお知らせの通り、本年は写大33期卒業50周年の節目に当たることから「33期卒業50周年記念写真展」（仮称）および記念総会を同期有志で企画いたしました。その実施原案が下記のようにまとまりましたので、謹んでお知らせいたします。

記

ご参加者対象：33期「技」「工」「版」卒業生（聴講生を含む）、同期物故者作品展示歓迎。

日時 写真展：平成20年11月24日（月）～30日（日）

総会：写真展最終日30日（日）午後1時より、昼食を兼ね夕刻まで。

会場 写真展：東京工芸大学 中野キャンパス 芸術情報館ギャラリー（旧写大テニスコート）

総会：中野キャンパス内ルネッサンス食堂

展示参加作品：出展作品は1点で、半切判相当のフレームにサイズ自由のプリントを収める。

ギャラリーへの搬入方法については後日に案内の予定。

展示終了後の搬出方法については、最終日の総会後に参加者個々にお持ち帰り

（着払いの宅配便手配も配慮予定）。

前号にて事前に、同期の皆様に出展作品ネガのご用意をお願いいたしました。よろしくご準備をお進め頂くよう重ねてお願い申し上げます。

ご出展作品は本格習作、新旧、を問わず競合を排し、お互いに写真を学び歩いてきた喜びを分かち合い、旧交を温める場になれば嬉しく思います。ぜひ11月下旬にご予定をたていただき写真展参加と総会出席（展参加の有無とは無関係）とを心からお待ちいたします。

なお細部のご案内とご参加の確認照会については、7月中旬に郵送にて直接に連絡申し上げる予定です。

企画有志代表・武井武彦（技）・小池恒裕（工）・清宮輝（版）

訃報（敬称略）

高橋 佑（第9期）

秋山 真一（第23期・写真工業科卒）

山本 尚久（第22期・写真化学工業科卒）

十束 弥生（第63期・画像技術科卒）

以下の記事記述に誤りがありました。

「ひろば」109号 P.18 30期同期会の大城正宏さんの科名「写真工業科」は、「写真技術科」の誤りでした。

「ひろば」109号 P.20 訃報一覧の高橋冬彦さんは、40期ではなく12期の誤りでした。

訂正してお詫び申し上げます。

編集後記

従来のホームページ委員会は、本年度よりHP運営委員会として、広報委員会の中で活動することになりました。

印刷媒体の「ひろば」とインターネットの特性を生かしながら、皆様に情報の提供と共有を図りたいと考えております。写真展、支部会、同期会、クラス会などの会合の予告はHPで、それらの結果は「ひろば」に掲載しますので、広報委員会 福村宛に〒又はメール（binfuku@dsn.t-kougei.ac.jp）にて情報をお送りください。よろしくお祈りいたします。

記：木村 政夫（38期）